

GPA制度について

1. GPAとは

GPA (Grade Point Average) は、各授業科目の評価をそれぞれの段階に相当する Grade Point(GP)に換算し、この GP に該当科目の単位数を乗じ、その総和を履修総単位数で除して算出する数値のことです。これは、個々の学生の学修到達度を総合的に示す一つの指標となります。

2. GPA制度導入のねらい

GPA導入のねらいは、成績評価基準を学外の評価基準に標準化すること(国際化を図ること)にもありますが、学生の学習意欲を触発し、学修目標の明確化を促すという教育効果が期待されます。

3. GPA制度の具体的活用

GPAは、本学においては、次のような目的に使用される場合があります。

- ① 成績優秀者の選考
- ② 奨学生の選考
- ③ 海外派遣留学生の選考、
- ④ 学生の教学に関する指導の際の指針 ほか

4. GPA算出式

本学の GPA の算出法は、正確には functional Grade Point Average (fGPA) と呼ばれる方式に従うもので、通常のものとは異なります。その算出の手順は、次のようになります。

- ① 各教科の GP(fGP)を算定します。

$$\text{GP(fGP)} = \frac{(100 \text{ 点満点の素点} - 55)}{10}$$

- ② 履修科目の GPA (fGPA)を算定します。

$$\text{GPA (fGPA)} = \frac{(\text{教科の GP} \times \text{単位数}) + (\text{ }) + (\text{ }) + \dots (\text{ })}{\text{履修単位の総和}}$$

具体的に、下のような a・b・c・d の 4 教科の成績の学生のケースで計算すると、GPA (fGPA)は 2.06 となります (表記は小数点第 2 位までとする)。

教科	単位	100 点評価	A・B・C 評価	GP(fGP)
a	1	68	C	1.3 (68-55) / 10
b	2	75	B	2.0 (75-55) / 10
c	4	88	A	3.3 (88-55) / 10
d	2	18	D(E・F)	0

$$\text{GPA(fGPA)} = \frac{(1.3 \times 1) + (2.0 \times 2) + (3.3 \times 4) + (0 \times 2)}{1 + 2 + 4 + 2} = 2.06$$

(「履修の手引き」より)